

入場無料  
事前登録不

# 放射線被ばくと暮らし

## 福島原発緊急セミナー

### プログラム

2011 5/26 THU ■ 13:00~16:00  
よみうりホール (東京都千代田区有楽町1-11-1  
読売会館7階 有楽町駅前)

受付開始  
12:30~

13:00~ 開会挨拶 田尻孝 日本医科大学 学長

13:10~ **第一部** 座長： 幕内雅敏 日本赤十字社医療センター 院長

#### チェルノブイリの教訓から福島を考える

演者： 山下俊一 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科長

世界保健機関（WHO）緊急被ばく医療協力研究センター長、日本甲状腺学会理事長、チェルノブイリ原発事故後20年間の医療協力に加えて、セミパラチクス核実験周辺地域医療改善に15年従事。現在福島県放射線健康管理リスク管理アドバイザーとして現地被ばく医療に従事中。

13:40~

#### わが国の緊急被ばく医療体制について

演者： 前川和彦 東京大学名誉教授

（独）放射線医学総合研究所 緊急被ばく医療ネットワーク会議委員長／放射線事故医療研究会代表幹事。放射線災害医療に詳しく、1999年茨城県東海村JCO臨界事故時に被ばくした作業員の医療を担当した経験を持つ。

14:20~ 質問に対する回答

14:30~ **第二部** 座長： 藤原研司 横浜労災病院 名誉院長

#### 微量放射線の健康影響について

演者： 神谷研二 広島大学原爆放射線医科学研究所 所長

広島大学原爆放射線医科学研究所長／広島大学緊急被ばく医療推進センター長。東北地方太平洋沖地震の発生翌日から、緊急被ばく医療派遣チームを被災地に派遣している、広島大学緊急被ばく対策委員会委員長。平成23年4月1日には福島県の放射線健康リスク管理アドバイザーに就任。

15:10~

#### 震災復興の現状

演者： 石川幹子 東京大学大学院工学系研究科 教授

日本学術会議会員。専門分野は都市環境計画、ランドスケープ計画。03年欧州（EU）国際基金21世紀の公園国際競技設計1位、08年四川汶川大地震復興ランドデザイン栄誉賞受賞。東日本大震災、宮城県復興会議委員。

15:50~ 質問に対する回答

閉会挨拶 上原清人 特定非営利活動法人BHNテレコム支援協議会 理事長

主催：特定非営利活動法人 先進医療フォーラム

共催：特定非営利活動法人 BHNテレコム支援協議会・東都医療大学

後援：公益財団法人 日本財団